

Title	我が国の国際航空貨物産業の需要構造分析
Sub Title	
Author	菊田健(Kikuta, Ken) 小野桂之介
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1985
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1985年度経営学 第403号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0403

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 菊田 健

主査 小野 桂之介

副査 古川 公成

所属ゼミナール 古川 公成 研

青井 倫一

我が国の国際航空貨物産業の需要構造分析

この研究の目的は、我が国の国際航空貨物産業の需要を決定している諸要因を明らかにすることにある。従来国際航空貨物の需要は、航空輸送に適した商品の動向を分析することによって推定されたり、GNPの関数として推定されてきたが、実務家の意見によれば、過去のモデルは予測に役立っていないという。

この研究では航空会社の立場に立って考案をすすめてみたい。航空会社の場合、需要予測は路線計画、機材計画、人員配置計画など、いずれも長期の期間と巨額の投資を要する経営計画を策定する際の基本的な資料となるからである。

需要を決定する要因としてしばしば使われているGNPを説明変数においた航空需要モデルを紹介する。そして日本でこの考え方が使えるものであるのか、我が国で得られる資料を基に調べた。

さらにGNP以外に需要を決定する要因を考えた。産業構造の変化が航空貨物に有利な状況になってきたことをとりあげ、輸送品目の重量当りの価格が航空需要を決める要因となることを説明したい。

筆者の分析からは、GNPを説明変数におくよりも、需要家の動向を見込んで需要を考える方が優位性がある定量的な証拠を見出し得なかった。また逆に、GNP優位である証拠もない。そこで数値的な分析の対象とならなかった航空輸送の高速性をとりあげて、荷主企業のメリットを考え、最後にポートフォリオマトリックスを応用した、需要予測の新しいアプローチを考えた。